



支援員養成講座4
発達障害と合理的配慮⑤
その他の障害



1



そのほかに学校で出会うことの多い障害

- てんかん
- 身体障害
- 反抗挑戦性障害(反抗挑戦症)

※他の障害と重複していることが多く、子どもによって状態は異なる。

※事前に対応の確認を！



2



てんかん



てんかん発作

- 脳にある神経細胞の異常な電気活動により引き起こされる発作のこと
- 体の一部が固くなる、手足がしびれたり耳鳴りがしたりする、動悸や吐き気を生じる、意識を失う、言葉が出にくくなるなどさまざまな症状が起こります。
- 小児期に発症することが多いが、思春期に発症するケースもある



3



てんかん発作の対応

- てんかん発作のタイプや程度に合わせた支援
- 個別指導計画書を確認したり、先生に何うなど事前に対応を確認しましょう



4



身体的な介助が必要なケース

補装具とは

身体機能を補完、または代替して使用される用具。
車いす・下肢装具・義手・義足・補聴器・眼鏡など



5



身体的な介助が必要なケースへの対応

- 給食・着替え・朝や帰りの支度・教室移動・休み時間の見守り・トイレの手伝いなど
- 障害の程度や、知的障害があるかどうかによっても異なる
- 学校にどのような介助が必要か確認しておきましょう



6

反抗挑戦性障害(反抗挑戦症)

- 過剰に怒りっぽい
- 周囲に挑発的な行動をする、口論が好き
- 執念深い



ひゅあさぼと

7

反抗挑戦性障害(反抗挑戦症)

- ADHDのある子どもの20～56%が二次障害として発症する。
- 症状のいくつかが半年以上継続される。
- 反抗期とは異なる。
- 精神病的障害、薬物による障害、抑うつ障害、双極性障害などによらない。

ひゅあさぼと

8

反抗挑戦性障害(反抗挑戦症)の対応

- 感情的に対応しない
- 小さなことでも約束を守れた時には褒める
- 過去の行動を責めない

ひゅあさぼと

9

まとめ

- 障害が合併していることが多く、子どもによって状態は異なる。
- 事前に本人の状態、支援の方法の確認を！

ひゅあさぼと

10